

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/7)

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	濱野清志		
学歴	昭和54年3月 京都大学法学部 卒業 昭和57年3月 京都大学教育学部教育心理学科 卒業 昭和59年3月 京都大学大学院教育学研究科(修士課程)教育方法学専攻 修了 昭和62年3月 京都大学大学院教育学研究科(博士後期課程)教育方法学専攻研究指導認定退学						
学位	平成20年 1月 京都大学博士 (教育学)						
専門分野	臨床心理学						
専門資格	臨床心理士 (1631 号)						
所属学会	昭和57年9月 日本心理臨床学会 昭和57年9月 日本箱庭療法学会 平成15年4月 日本トランスパーソナル精神医学・心理学会 平成15年4月 日本心理学会 平成12年4月 日本青年心理学会						
受賞							
担当 授業科目	学 部 臨床心理学基礎演習、臨床心理学演習、臨床心理学研究法演習 ・ 、臨床心理学総合演習Ⅰ・ 、心理学概論、人間関係基礎論、臨床心理学実践演習 (芸術療法3) 、臨床心理学実践演習 (ボディワーク) 、臨床コミュニケーション論、トランスパーソナル心理学 大学院 臨床心理学特論B、心理療法特演Ⅰ-A・ -A、臨床心理学特演Ⅰ-A・Ⅰ-B・ -A・ -B、臨床心理 学研究演習Ⅰ-A・ -A・ -A						
論文指導	論文指導担当[主査] (卒論 : 16名、修士論文 : 2名) 論文審査担当[副査] (卒論 : 6名、修士論文 : 5名)						
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数			
	人間関係基礎論	講義・演習・実習・実験	春・秋	約160名			
	授業の概要 : 受講生の日常の人間関係で考えることを題材に教員がコメントし、それにまた受講生がコメントすることを通じて、人間関係を見つめる臨床心理学的まなざしを養う。						
	教育活動の振り返り : 15回を通じて、毎回の受講生のレポートをもとに、程よい緊張感をもって講義を展開することができた。 教育活動の成果 : 受講生にとって、自分だけが悩んでいるのではないかということが、同じ部屋にいる他の受講生とも共有することのできるものであることに気づき、より見つめられるようになったのではないかと期待する。 今後の課題 : 時代による受講生の話題の変化に応じた新しいテーマを考えること。						
	・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 下記の学内のFD講演会、ハラスメント研修会に参加した。 平成26年10月 第1回FD講演会「京都文教大学の初年次教育を考える」 平成27年 3月 1. 第2回FD講演会 (研修会) 「授業と評価をつなぐ為に ~ ルーブリック評価入門 ~ 」 2. ハラスメント研修「アカデミックハラスメントに係る講義とグループワーク」						

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2 / 7)

F D 活 動 ・ 教 育 実 績	・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 ・ 東洋的身体技法研究会の活動として気功の実践と講習会を開き、学生が自由に体験できる場を設けている。 ・ 大手筋サテライトキャンパスにおいて毎週火曜日午前に東日本大震災で避難されてきた家族への子育て支援活動の手伝いをしており(「ほっこり広場」)、そこに学生ボランティアを導入している。 ・ 大学院生を対象に、描画・イメージ勉強会を求めに応じて2か月に一度程度の割合でキャンパスプラザを使って実施した。 ・ COCの研究事業として気功などの東洋的身体技法によるセルフケア講座を大手筋サテライトキャンパスで実施した。
H26 年度 研究課題	1. 身体疾患に対する心理臨床的アプローチの基礎研究 2. 「地域と結ぶ癒しの技」研究 3. アレキシソミア研究 4. 樹木画の国際比較研究の整理
平成 二 十 六 (2014) 年度の 研究活動の概要	1. 身体疾患に対する心理臨床的アプローチの基礎研究では、元来、科学研究費助成事業の研究で行った調査研究の資料を、定期的に集まって再検討し、少しずつ発表して、最終的にまとめた書籍にしようと話し合いを進めている。 2. 「地域と結ぶ癒しの技」研究では、東洋的身体技法研究会を母体に、定例の気功の集りを維持し、また、一般向けの気功講習会を開催しながら、気功を通じた健康、生活支援の在り方を模索した。 3. アレキシソミア研究会に定期的に参加し、そこを母体として成立した「身の医療」研究会の大会に司会などの役割で参加し、心身医学と心理療法の接点を探った。 4. 樹木画国際比較の研究資料の整理については、年度内に一度、担当の者で集まり、話し合いを持って、今後の方向性を検討した。
平成 二 十 六 (2014) 年度の 主な研究 成果等	(著書) 1. 「河合隼雄」、共著(当該部分担当)、平成26年9月、コスモスライブラリー、諸富祥彦編、『カウンセリング/臨床心理学を学ぶ人のための 伝説のセラピストの言葉』(pp.324-333) (論文) 1. 「成瀬悟策先生の論文『あるケースから心理療法の反省・批判』を読んで」、単著、平成27年2月、『創造の臨床事例研究(藤原勝紀編、FJK報告書)』第11号(pp.15-20) 2. 「一般成人の『病の体験』に関する基礎的研究 —自由記述を通してみる『病の体験』—」、共著、平成27年3月、共著者：金山由美・駿地眞由美・馬場天信・村川治彦・深尾篤嗣・千秋佳世、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第7集(pp.31-42) 3. 「一般成人における『病の体験』の実態調査 —第一報：年代・性別による特徴についての調査報告—」(研究ノート)、共著、平成27年3月、共著者：馬場天信・駿地眞由美・深尾篤嗣・金山由美・村川治彦・千秋佳世、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第7集(pp.57-70) (学会報告、学会活動) 1. 身の医療研究会第1回研究交流会(座長司会)、平成26年7月、関西大学千里山キャンパス 2. 日本心理臨床学会第33回秋季大会(事例検討司会担当)、平成26年8月、パシフィコ横浜 3. 日本自律訓練学会第37回大会(基礎講習会受講・大会参加)、平成26年10月、九州大学医学部 (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) エッセイ・その他： 1. 「みずからをいつくしむ —内向的姿勢のすすめ—」、単著、平成27年1月、公益社団法人京都府少年補導協会『みちびき 補導便り』№311(pp.6-9)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/7)

平成 二十六 (2014) 年度の 主な 研究 成果等	(調査活動)
	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)
平成 二十六 (2014) 年度の 社会 にお ける 活動	(学内活動) 臨床心理学部長、大学運営会議委員、大学教学会議委員、自己点検・評価委員会委員、自己点検・大学院委員会委員、自己点検・評価 管理運営専門委員会委員、危機管理委員会委員、キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員、広報委員会委員、人事委員会委員、入試委員会委員、海外学術研究助成委員会委員
	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託) ・ 京都市教育相談総合センターアドバイザー「平18.4より」 ・ 京都市児童生徒登校支援連絡協議会委員「平22.4より」 ・ 大阪市こども相談センターアドバイザー「平22.4より」 ・ 大阪市職員カウンセリングルーム非常勤カウンセラー「平17.4より」 (NPO法人等の団体への参画) ・ 京都府臨床心理士会理事「平14.6より平26.5まで」(会長「平22.4より平26.5まで」) ・ 京都精神保健福祉協会理事「平22.4より平26.3まで」 ・ 公益社団法人菱橋ファミリークリニック理事「平26.7より」 (小中高との連携授業の講師) 平成26年 5月 京都文教高等学校ALP「臨床心理学部における学習の基盤 ～心理学の知識と資格取得について～」(共同) 於:同校 平成26年 9月 京都文教高等学校ALP「ものごとの認識の不思議」、於:同校 (自治体や企業における研修等の講師) 平成26年 7月 1. 三重県総合教育センター 教育相談専門研修中級講座、「臨床心理学 ―心理臨床の視点から発達を考える―」、対象: 学校教員、於: 三重県津庁舎 2. 31世紀のこころを占う 連続シンポジウム「心理臨床と地球の未来」(司会進行) 対象: 京都文教大学臨床心理学部 学生・教職員・一般、於: キャンパスプラザ京都 平成26年11月 1. 京都市教育委員会 第15回不登校フォーラム、「臨床心理学の観点からみた不登校」講師、対象: 一般市民、於: 京都市教育相談総合センター 2. 樋口和彦先生一周忌記念シンポジウム「生と死をめぐって」(司会進行) 対象: 京都文教大学臨床心理学部 学生・教職員・一般 (その他) ・ 日本トランスパーソナル心理学・精神医学会理事「平22.4より」 ・ 竹村診療所デイケアスーパーヴァイザー「平17.4より」 ・ 渡辺カウンセリングルーム非常勤カウンセラー「平17.6より」 ・ 京都文教大学東洋的身体技法研究会 気功講座指導員 (於: 京都文教大学およびぶんきょうサテキャン伏見大手筋)「平19.4より」 ・ 東日本大震災被災者支援 ほっこり広場運営「平23.7より」 ・ 福岡県立大学大学院非常勤講師 (投影法特論)「平14.4より」 ・ 京都教育大学大学院非常勤講師 (投映法特論)「平22.4より」 ・ 関西大学人間健康学部非常勤講師 (身心相関論)「平24.4より」

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/7)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等

(著書)

1. 『臨床心理士の基礎研修 ―ファーストステップ・ガイダンス―』、共著、平成21年12月、創元社、日本臨床心理士会編 (編集および分担執筆) 224p
2. 「こころとからだはどういう関係にあるか」、共著、平成23年9月、有斐閣アルマ、諸富祥彦編、『人生にいかすカウンセリング』(pp.131-137)
3. 「第3章1節 カウンセリング・マインド」、共著、平成25年4月、ミネルヴァ書房、加藤博史・水藤昌彦編、『司法福祉を学ぶ ―総合的支援による人間回復への途―』(pp.79-83)

(論文)

1. 「身体に潜在する自然 ― ―「こころ」、心、身体」、共著、平成21年9月、創元社、伊藤良子・大山泰宏・角野善宏編著、京大心理臨床シリーズ9 心理臨床関係における身体 (pp.245-252)
2. 「錯の心理学試論 ―回性のリアリティの回復に向けて」、単著、平成22年8月、トランスパーソナル心理学 / 精神医学第10巻第1号 (pp.29-33)
3. 「瞑想する身体」、単著、平成25年9月、日本人間性心理学会 人間性心理学研究第31巻第1号 (pp.21-30)
4. 「病の体験による生活・生き方の変化に関する基礎的研究」、共著、平成26年3月、共著者：駿地眞由美・馬場天信・深尾篤嗣・金山由美・村川治彦、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第6集 (pp.117-128)

(学会報告、学会活動)

1. 学会発表「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究 (1) ―年代・性別による選択された身体的病内容の比較―」、共同、平成22年9月、馬場天信・駿地眞由美・深尾篤嗣・金山由美・村川治彦、日本心理臨床学会第29回秋季大会、東北大学
2. 学会発表「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究 (2) ―病の体験による生活・生き方の変化―」、共同、平成22年9月、駿地眞由美・馬場天信・深尾篤嗣・金山由美・村川治彦、日本心理臨床学会第29回秋季大会、東北大学
3. 学会発表「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究 (3) ―年代・性別から見た病体験影響度の比較―」、共同、平成22年9月、深尾篤嗣・馬場天信・駿地眞由美・金山由美・村川治彦、日本心理臨床学会第29回秋季大会、東北大学
4. 学会発表「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究 (4)」、共同、平成22年9月、金山由美・馬場天信・駿地眞由美・深尾篤嗣・村川治彦、日本心理学会第74回大会、大阪大学
5. 学会発表「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究 (5)」、共同、平成22年9月、金山由美・馬場天信・駿地眞由美・深尾篤嗣・村川治彦、日本心理学会第74回大会、大阪大学
6. 「研究発表C：樹木画の査定能力の形成過程 ―イメージ・直観の形成について― (杉岡月子・柴田由紀・橋本光・鶴田英也・後藤智子)」指定討論者、平成24年10月、日本箱庭療法学会第26回大会、米子コンベンションセンター

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

学術講演等：

1. Japanese Qi-gong (日本の気功実習と講演) 平成23年5月、Friends Meeting House, Friars Lane, Canterbury
2. Sukunahikona and Daimonic Imagination. Daimonic Imagination: Uncanny Intelligence. 7th May Kent University
3. 「気と体にみる日本の精神性 ～気のせい、気のおかげか? ～」、単独、平成23年5月、京都文教大学人間学研究所・臨床心理学部共催公開講座 シリーズ日本の心理療法研究第6回、京都文教大学

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/7)

平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度の主な研究成果等

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)

4. 「わざわざ生まれる心体 臨床心理学の視点から」(話題提供) 共同、平成23年7月、第2回こころ観研究会・ワザ学研究会・負の感情研究会合同研究会、京都大学こころの未来研究センター
5. 人間性心理学会第31回大会理事会企画シンポジウム:「身体について考えよう」シンポジスト、平成24年9月、司会: 藤中隆久、シンポジスト: 葛西俊治・日笠摩子、指定討論者: 田村隆、宇部フロンティア大学
6. 「樹木画法 (パウムテスト) の可能性 —心理査定・対話・イメージ・心理療法—」コメンテーター、平成24年10月、司会: 鶴田英也、コメンテーター: 山中康裕、梅花女子大学大学院附属心理・教育相談センター開設8周年記念行事、梅花女子大学
7. 「臨床心理学から見た不登校」分科会講師、平成24年11月、第13回京都市不登校フォーラム、京都市教育相談総合センター
8. 「峨眉丹道医薬養生学派の気功と武道における心身変容技法研究」(指定討論者) 平成25年9月、科研「身心変容技法の比較宗教学」国際シンポジウム (京都大学こころの未来研究センター・鎌田東二科研) 京都大学稲盛財団記念館
9. 2013年度連続シンポジウム「心理臨床と地球の未来 31世紀のこころを占う」(シンポジスト・コーディネーター) 共同、平成25年10月・11月、京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科主催、京都文教大学
10. シンポジウム「人と音: 音からみえる生活、身体、環境」(話題提供) 共同、平成26年2月、「音の力: レクチャーコンサート「昔の音世界」・シンポジウム」(人間学研究所「地域と結ぶ癒しの技の研究開発」プロジェクト) ウイングス京都

エッセイ・その他:

1. 「臨床心理学から見た気の意味」単著、平成22年6月、環境と健康第23巻第2号 (pp.186-192)
2. 「気とからだの動き」単著、平成20年8月、日本心理臨床学会、心理臨床の広場Vol.1No1 (pp.38-39)
3. 「記憶に残る臨床体験 (41) 心理臨床を支える二つの援助」単著、平成21年3月、金剛出版、臨床心理学50 (第9巻2号) (p.292)
4. 「ワンセッションの事例研究のおもしろさ」単著、平成26年2月、藤原勝紀編、創造の臨床事例研究 (FJK報告書) 第10号 (pp.59-63)

(調査活動)

平成22年 9月 「箱庭とHawaiian Traditional Healingに関するセミナー」に参加 (京都文教大学海外出張助成金による)

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

平成21年度-平成24年度

科学研究費補助金 (基盤研究B・一般) 「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの基礎研究」(課題番号21330163) 研究代表者

(学内活動)

平成14年 4月 心理臨床センター所長「平22.3まで」
心理臨床センター運営委員会委員「平25.3まで」
平成17年 4月 大学運営会議委員「現在に至る」
自己点検・評価委員会委員「現在に至る」
自己点検・大学院委員会委員「平24.3まで」
平成21年 4月 海外出張助成調整委員会委員「平22.3まで」
平成22年 4月 学生部長「平24.3まで」
大学教学会議委員「現在に至る」
広報委員会委員「現在に至る」
自己点検・評価 管理運営専門委員会委員「現在に至る」
自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平26.3まで」

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/7)

平成二十一～二十五 主な研究成果等 (2009～2013) 年度の	(学内活動 つづき) 平成22年 4月 自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平26.3まで」 FD委員会委員「平24.3まで」 学生委員会委員「平24.3まで」 入試委員会委員「現在に至る」 学生相談室運営委員会委員「平24.3まで」 人事委員会委員「現在に至る」 臨床心理学部研究報告編集委員会委員「平25.3まで」 平成23年 4月 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「平25.3まで」 平成24年 4月 臨床心理学科長「平26.3まで」 危機管理委員会委員「現在に至る」 平成25年 4月 自己点検・大学院委員会委員「現在に至る」 海外学術研究助成委員会委員「現在に至る」
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託) 平成17年 4月 大阪市職員カウンセリングルーム非常勤カウンセラー「現在に至る」 平成18年 4月 京都市教育相談総合センターアドバイザー「現在に至る」 平成22年 4月 京都市児童生徒登校支援連絡協議会委員「現在に至る」 大阪市こども相談センターアドバイザー「現在に至る」 平成24年8月・12月 平成24年度教員免許状更新講習講師「表現療法を通じて学ぶ教師と子どもの自己理解と心身調整」、於：京都文教大学 平成25年 8月 平成25年度夏期教員免許状更新講習講師、「表現療法を通じて学ぶ教師と子どもの自己理解と心身調整」、於：京都文教大学 平成25年11月 平成25年度秋期教員免許状更新講習講師、「表現療法を通じて学ぶ子どもの自己理解と心身調整」、於：京都文教大学 (NPO法人等の団体への参画) 平成14年 6月 京都府臨床心理士会理事「現在に至る」 平成18年 6月 京都府臨床心理士会副会長「平22.3まで」 平成20年 4月 雇用促進委員会委員長「平22.3まで」 平成22年 4月 京都府臨床心理士会会長「平24.3まで」 京都精神保健福祉協会理事「現在に至る」 日本心理臨床学会代議員「平24.3まで」 (小中高との連携授業の講師) 平成25年 6月 京都文教高等学校ALP「錯覚の現象から心の本質を探る」、於：同校 平成25年 9月 三重県立上野高等学校、「受験ストレスの乗り切り方」、於：同校 平成25年11月 京都文教高等学校ALP「錯覚の現象から心の本質を探る」、於：同校 (自治体や企業における研修等の講師) 平成21年 5月 第48回京都府臨床心理士会主催全体研修会(講演および事例検討)「こころと身体をつなぐ心理臨床」、於：京大会館 平成24年5月-12月 大阪市スクールカウンセラー研修会講師、於：大阪市こども相談センター 平成24年 6月 京田辺市ふれあい福祉相談委員会委員セミナー「相談援助の身体と心の関係について」講師、於：京田辺私立社会福祉センター 平成24年 8月 いわくら病院メンタルヘルスワークショップ こころとからだのリフレッシュ講師、於：いわくら病院

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (7/7)

平成二十一 ～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	(自治体や企業における研修等の講師 つづき)	
	平成24年 9月	1. わ(和)かさ(笠)みな(南)ぎるささえ愛協議会主催 傾聴ボランティア講座 講師、於：笠置産業振興会館
		2. 京都社会福祉士会南部主催「からだところ 支援者のリラクゼーション」 講師、於：ゆめりあ宇治
	平成25年 6月	大阪府臨床心理士会 事例検討会講師、対象：臨床心理士、於：リーガロイヤル ホテル大阪
	平成25年 7月	1. 三重県教育委員会 カウンセリング研修、対象：教師、於：三重県総合教育 センター
		2. 武庫川女子大学付属中学・高等学校カウンセリングルーム 事例検討会講 師、対象：相談員、於：同校
	平成25年 9月	学校臨床心理士全国研修会、対象：臨床心理士 発達障害（自閉圏） 於：昭和 女子大学
	平成25年11月	1. 京都市教育委員会 第14回不登校フォーラム「『登校どころ』を紡ぐ ～子ど もたちの力を引き出す登校支援～」講師、対象：一般、於：京都市教育相談 総合センター（こどもパトナ）
		2. 京都精神保健福祉協会 こころの健康づくり大会・京都2013「からだところ をつなぐ ダンス・セラピーの挑戦」司会進行、対象：一般、於：ハートピア 京都
	(その他)	
	平成14年 4月	福岡県立大学大学院非常勤講師（投影法特論）「現在に至る」
	平成17年 4月	竹村診療所デイケアスーパーヴァイザー「現在に至る」
	平成17年 6月	渡辺カウンセリングルーム非常勤カウンセラー「現在に至る」
	平成19年 4月	京都文教大学東洋的身体技法研究会 気功講座指導員、於：京都文教大学およびぶ んきょうサテキャン伏見大手筋「現在に至る」
	平成20年 4月	立命館大学大学院応用人間科学研究科非常勤講師（応用人間科学特論）「平23.3まで」
	平成22年 4月	1. 日本トランスパーソナル心理学・精神医学会理事「現在に至る」 2. 京都教育大学大学院非常勤講師（投影法特論）「現在に至る」
	平成23年 7月	東日本大震災被災者支援 ほっこり広場運営「現在に至る」
	平成24年 4月	関西大学人間健康学部非常勤講師（身心相関論）「現在に至る」
	平成24年5月・6月	京都文教公開講座いきいき健やか講座「気功入門講座 ～気をのびやかに楽しい 日々を...～」講師、於：京都文教大学